

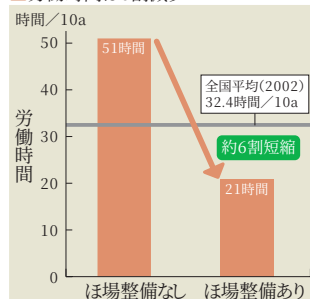
元気な農業がもたらすメリット

元気な農業が実現すると、農家にも消費者にも大きなメリットがあります。

大区画化で労働時間が6割減少

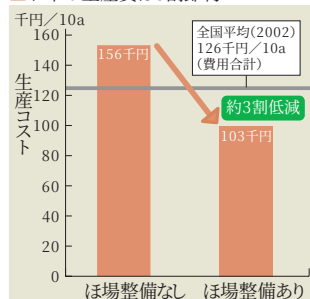
昔の農地は、一つの区画が小さく、形も様々で、コンバインなどの機械を思うように使えませんでした。ほ場整備によって、農地の区画を大きく四角に整えると、機械を自由に使えるようになり、労働時間が大幅に短くなります。ほ場整備を行った農地では、まだ、ほ場整備をしていない農地と比べ、労働時間は約6割も少なくなります。また、米の生産にかかる費用も、約3割節約できます。

■労働時間は6割減少

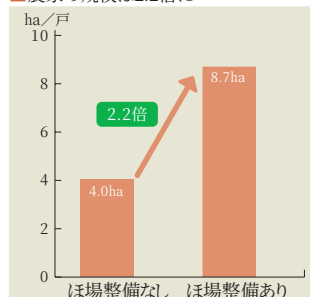


注:平成8～14年度に完了した都道府県営ほ場整備事業の実績 出典:農林水産省農村振興局調べ

■お米の生産費は3割節約

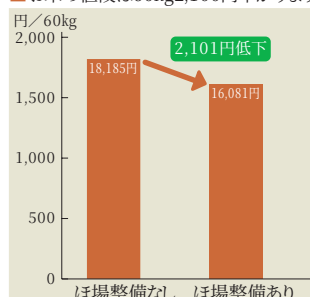


■農家の規模は2.2倍に



注:平成8～14年度に完了した都道府県営ほ場整備事業552地区の実績 出典:農林水産省農村振興局調べ

■お米の値段は60kg2,100円下がります



出典:農林水産省農村振興局調べ

担い手に農地を集め2.2倍の規模に

日本では一軒の農家が耕している農家が海外の農業国に比べて小さいため、効率的な農業ができません。また、年をとって農業が続けられなくなった農家も増えています。

元気な農業を実現するためには、大規模な農地を使って効率的で安定的な農業経営を行う地域の農業の担い手を育てることが必要です。

ほ場整備を行うとき、地域の農家が集まって相談します。それをきっかけにして、地域の将来の農業の担い手となる農家や共同して農作業を行う生産組織に農業をまかせるようになり大規模で効率的な農業が実現します。ほ場整備を行った地区の農家一戸あたりの経営規模は8.7ha/戸で、ほ場整備を行っていない地区の2.2倍です。

お米が安くなり消費者に年間3,300億円のメリット

全国ではほ場整備が進み、担い手が大区画の農地で大規模な農業をするようになると、お米の生産費がさがり、お米の値段も安くなります。

平成12年の米の値段は、60kg(1俵)16,084円でした。もし、ほ場整

備が行われなかったら、米60kgの値段は2,101円も高い18,185円だったと推計されています。

お米が安くなることの全国の消費者へのメリットを合計すると、年間3,300億円もの金額になります。

事例報告

未来の農業を目指した改革のストーリー

事例 01 北海道 南幌町

北海道中樹林地区

未来の農業を目指した大区画化と用排水システム整備

南幌町中樹林地区では、771haの水田、畑を大区画化し、先進的な技術を使った「地下かんがい・排水システム」

かつての中樹林地区が抱えていた問題点

それぞれの農家が30a～50aの小さい区画の農地で農業をしていたため、大型の機械を効率的に使えません。また、農地の水はけが悪くて、

を整備することで、生産効率が飛躍的に向上し、キャベツやネギなどの収益性が高い野菜を生産できるようになり

作ることができる作物が限られ、収益性のよい野菜などの作物を自由に作ることができません。

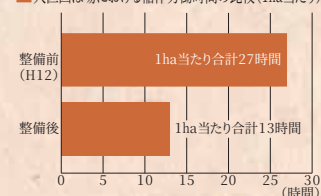
ました。現在では、ほ場整備事業をきっかけに設立された農業生産法人によって、先進的な農業が実現しています。



中樹林地区が実現した先進的な農業 10倍以上の面積の大区画化で作業の効率が飛躍的に向上

160～360aの大区画に拡大し、労働時間が約5割少くなり、生産費も大きく減りました。大区画化をきっかけに農業生産法人が設立され、効率的な大規模経営(100ha以上の規模、年間粗収益1億円以上)が実現し未来の中樹林地区の農業の担い手が育ちました。

■大区画ほ場における稲作労働時間の比較(1ha当たり)



先進的な「地下かんがい・排水システム」によってキャベツやネギの「南幌ブランド」化

農地の地下にパイプラインを入れた「地下かんがい排水システム」を整備することで水はけがよくなり、キャベツやネギなど収益性が高い野菜の生産できるようになりました。品質の

よさから、「南幌ブランド」が認められるようになっていきます。きめ細かい水管理を省力的にできるようになり、労働時間が短くなって、収穫量が増しました。

■地下かんがい排水システムのしくみ

